

私たちの道

MCWAYを感じる

出向交流の体験を通じた気づき

1. 社労士事務所との出向交流

- ・地域の土業連携の取り組みとして、昨年9月から今年3月までの半年間、出向交流を実施
社労士事務所 → MC支社(月4日程度・労務調査の習得)
MC支社 → 社労士事務所(週1回・社会保険等のOSスキルの習得)
- ・個人としては、出向の受け入れ(日程調整、受け入れ時の対応)と3ヶ月間の出向を体験

2. 開始前後に感じたこと

【開始前】

- ・通常業務に加えて、出向受け入れと出向に行くことへの不安
→時間のやりくり・出向に来ていただき期待に応えられるか
- ・自分のスキル習得への期待感

【開始後】

- ・社労士事務所勤務の疑似体験をしているようで、新鮮で、刺激があり、学びとなった
(いつもの環境から出て見える景色やMCの特徴)
- ・出向の受け入れに際して、時間を割いてあたたかく対応くださったことへの感謝
- ・出向に来て「勉強になった・楽しかった・気づきがあった」と言っていただけで、迎える側としても同じだという気づき
- ・組織間の関係性や、お互いのタイミングがあったからできた、とても貴重な経験
(機会をくださった皆さまへの感謝)
- ・スキルの習得については、3ヶ月では、一部を疑似体験することで精一杯
→それでも、日々のお客さまからの労務相談において、知識が役立ち幅が広がった

3. 体験からの気づき

- ・出向交流で得られたもっとも大きなものは「人との出会い・ご縁」
- ・土業連携による地域創生の可能性(お互いできることやお客さまとの出会いが増える)
- ・組織として連携を続けていくために大事なことは、人と人との信頼関係
※今後も一緒にやっていきたいと思っていただけるような人間力の研鑽が必要